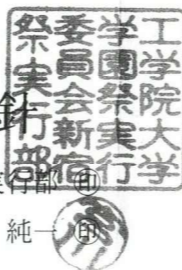


2023 年度工学院大学学園祭実行委員会新宿祭実行部 方針

工学院大学学園祭実行委員会新宿祭実行部

部長 宮川 純一



1. 構成

学園祭実行委員会新宿祭実行部は部長、副部長、会計の三役に加え、渉内局、渉外局、創作局、広報局、企画局、技術局の計6局、3年生10人で構成されている。

2. 方針

本実行部は八王子祭実行部で培った経験を活かし、新宿祭を企画・運営する。昨年度は八王子祭・新宿祭共に対面での完全開催ができたものの、新宿祭では多くの参加団体及び来場者を集める事が出来なかった。そのため今年度は、より多くの参加団体への発表の場を提供し、新しいコンテンツに挑戦し来場者を増加させる。また、工学院大学及び新宿祭の広報を更に活発にすること認知度の拡大を行うことを方針とする。

3. 目的

本実行部は11月本学新宿キャンパスで開催する学園祭である新宿祭を企画・運営する組織である。新宿祭を円滑に運営し、参加団体や来場者とともに楽しませることで、広く学生への参加意欲を喚起し、学生が学術・文化活動の成果を発表する場を企画・運営することを目的とする。また、本実行部主催の企画を運営することで参加団体の更なる参加向上を図る。加えて、本学の広報並びに工学院大学の発展に寄与することを目的とする。

4. 活動内容

a) 新宿祭全体会議

学園祭に参加団体、来場者をはじめとした全ての方々に満足していただく学園祭を創るため、実行部内で意見交換を行う。意見交換の場とすることにより意識統一・向上を図る。また活動状況を情報共有することにより本実行部全体での活動を本実行部全員が把握することができる。

b) 学園祭全体会議

別々のキャンパスで活動を行っている八王子祭実行部と新宿祭実行部の間での情報を共有すると共に、ディスカッションを行うことで本委員会全体での意識統一・向上を行う。また学園祭実行委員会として、両実行部での問題を全体で解決することを目的としている。

c) 第61回八王子祭

八王子祭に参加する学生団体の学術・文化活動の場を提供し、本学の広報及び発展に寄与することを目的とし、10月に八王子キャンパスにて八王子祭を企画・運営する。また、新宿祭実行部が運営に加わることで昨年度の経験を活かし、八王子祭実行部のみでは目の行き届かない範囲の管理が可能となり、八王子祭実行部の余裕を持った運営に繋げる。また、八王子祭実行部とともに作り上げることにより円滑で安全な八王子祭の運営をする。

d) 第74回新宿祭

新宿祭に参加する学生団体の学術・文化活動の場を提供し、学園の広報及び発展に寄与することを目的に、11月に新宿キャンパスで実施する新宿祭を企画・運営する。参加する学生団体を募集し、ステージ企画、教室展示、模擬店を中心に日々の活動の成果を発表する場を提供し、多くの来場者に成果発表を観覧してもらうことで、今後の活動の促進及び学生生活の充実を図ることを目標とする。

キャンパス全体には、毎年掲げているテーマの世界観に来場者・参加団体ともに普段とは違ったキャンパスの姿へ、学園祭特有の雰囲気に取り込むため、装飾を施す。加えて本学新宿キャンパスは閉鎖的空間であることを最大限活用し装飾を行う。

アトリウムに特設ステージを設置し、新宿祭を大いに盛り上げるための象徴、いわば学園祭の顔といえる存在とする。そのため、学生の学術・文化活動の発表の場のさらなる発展、キャンパス周辺地域との交流、幅広い年齢層の方々の来場など、様々な要素で盛り上げ、新宿祭の認知度とブランド力を向上させる。アトリウムではアーティストライブと文化会主催による声優トークショーもアトリウムにて実施することで、最新技術を駆使して来場者に感動を与える。また学生層に人気のあるアーティストや芸能人を招致しパフォーマンスを行っていただくことで、学内生や来場者にはより一層新宿祭を楽しんでもらう。

一階東口付近の階段では、ビルキャンパスという特徴を活かした企画である鉄人29階を実施する。来場者には新宿キャンパスの特徴とその魅力を体感してもらうと共に、工学院大学に興味・関心をもって頂く。これらの企画を通して、より多くの方々の興味を引くことで、企画の参加に繋げ、新宿祭を活性化させる。

エステック広場では模擬店を開催すると共に、活気をもたらす企画を実施する。ほかにも参加団体の発表をみながらキャンパス内を回る新宿祭堪能スタンプラリーを実施することにより、来場者には様々なコンテンツを回ってもらうきっかけを作る。これにより多くの来場者が様々な学生の発表の場に足を運んで頂き参加団体と来場者の双方に満足して頂く。

広報活動は更なる拡充を図り、新宿をより広く多くの方々に周知させていただき、来場につなげる。現状工学院大学の認知度は高いものとは言えない。本実行部の新宿祭を通じて認知度向上に貢献する。しかし昨年度は来場者数が減少してしまった。今まで来ていた来場者や近隣住民の方々の来場者を取り戻し、さらに今まで以上の飛躍的に向上させるため広報活動へさらに力を入れる。そのため参加者の方々を広報活動の参加者とし一般の方々にさらに新宿祭の周知をさせ、新宿祭をさらに学内生から、一般の方々から盛り上げることに繋げる。

以上を2023年度新宿祭実行部の方針とする。